

コンピュータウイルスに関する調査 ネット利用者の14.0%が過去3ヶ月以内に感染経験 実害を受けたのは4.0%

● 調査概要

- テーマ コンピュータ・ウイルスに関して(2001/8実施)
- 調査結果 有効回答 4,753件

iMiネットでは、『コンピュータ・ウイルス』について調査を行った。

■ 会社や自宅でふだん利用しているパソコンが過去3ヶ月以内にコンピュータ・ウイルスに感染した人の割合は14.0%であることがわかった。

■ 感染経路はメールが70.4%、フロッピーやCD-ROM等の媒体が6.6%、ダウンロードが6.0%であったが、経路がわからないという人も7.4%いる。

■ 感染者のうち71.6%は被害を未然に防いでいるものの、28.4%、すなわち全体の4.0%は具体的な被害を受けるに至っており、被害者の44.7%(全体の1.8%)は「勝手にメールを送信された」としている。

■ 男女別に見ると、感染率が女性では11.9%であるのに対して、男性は15.8%と、より感染しやすい状況にあることを示している。しかし感染者のうち被害を未然に防いだ人の割合では逆に男性が74.5%と女性の67.5%を上回っていたため、最終的な実害率では女性3.9%、男性4.0%とほぼ同じ水準になっている。

■ 年代別には、感染率は10代22.1%、20代14.7%、30代13.6%、40代13.4%、50代10.9%と、年齢が高くなるにつれて低下している。感染後の被害防止率は30代と40代が73%と最も高く、20代が71%でそれに続き、10代と50代が67%と最も抵抗力が弱い様が見える。感染率が高く抵抗力が弱い10代の実害率は7.0%と、4.3%の20代を筆頭とする他の年代より際立って高くなっているのが特徴的である。

■ 被害を未然に防いだ人々が日頃心がけていたことは、ワクチンソフトを最新のウイルス定義ファイルに更新していた(52.1%)、怪しいファイルは開かないで削除するようにしていた(35.2%)、普段からコンピュータウイルスに対しての意識を持っていた(15.4%)、メールの添付ファイルを開く前にウイルス検査を行っていた(41.1%)、ダウンロードしたファイルは、使用する前にウイルス検査を行っていた(46.8%)となっている。

■ また、未然に防ぐことができた人が挙げた主なエピソードは以下のとおり：

- ・事前に情報を入手して対策できた
- ・開ける前に会社から注意のアナウンスがあった
- ・添付ファイルの拡張子を見て、相手に確認をした
- ・たまたま、購入したパソコンのソフトが気づいてくれた
- ・ウイルスバスター2001が発見してくれた
- ・ウイルスバスターのオンラインスキャンをしたから
- ・添付ファイルを開いた直後、監視中のワクチンソフトが感染を防いだ
- ・発病後直ちにワクチン開発系のHPを閲覧し、対処方法を実行したため
- ・所有パソコンがMacだから救われた

● 調査結果

■ Q1. 普段お使いのパソコンで、あなたは過去3ヶ月以内にコンピュータウイルスの被害を受けていますか？(一つ選択)

コンピュータウイルスに感染し、被害を受けた	4.0%
コンピュータウイルスに感染したが被害は未然に防いだ	10.0%
コンピュータウイルスには感染していない	83.5%
コンピュータウイルスを知らない	2.6%

■Q2. 【Q1で<1>または<2>と回答された方に伺います】コンピュータウィルスの被害を受けたパソコンはどこで使用するパソコンですか？（複数回答）

会社	31.3%
学校	5.6%
自宅	58.5%
持ち運び	4.0%
その他	0.4%

■Q3. 【Q1で<1>または<2>と回答された方に伺います】コンピュータウィルスの感染経路を教えてください。

メール	70.4%
外部媒体（FD,MO,CD-ROM等）	6.6%
ダウンロード	6.0%
その他	3.2%
わからない	7.4%

■Q4. 【Q1で<1>と回答された方に伺います】どんな被害を受けましたか？（複数回答）

ファイルが壊れた	30.9%
パソコンが動かなくなった	33.0%
操作を妨害された	27.1%
勝手にウィルス感染メールを送信した	44.7%
その他	24.5%

■Q5. 【Q1で<1>と回答された方に伺います】コンピュータウィルスの被害を受けてから、対策をとっていますか？（複数回答）

ワクチンソフトを最新のウィルス定義ファイルに更新している	68.1%
メールの添付ファイルは、開く前にウィルス検査を行っている	39.9%
ダウンロードしたファイルは、使用前にウィルス検査を行っている	23.4%
ウィルス感染被害に備え、データのバックアップを行っている	32.4%
ウィルス感染の兆候はないか、意識するようになっている	35.6%
怪しいファイルは開かないで削除するようになっている	68.1%
その他	3.2%
何もしていない	6.4%

■Q6. 【Q1で<2>と回答された方に伺います】被害を未然に防ぐことができた理由はなんですか？

ワクチンソフトを最新のウィルス定義ファイルに更新していた	52.1%
メールの添付ファイルを開く前にウィルス検査を行っていた	35.2%
ダウンロードしたファイルは、使用前にウィルス検査を行っていた	15.4%
普段からコンピュータウィルスに対しての意識を持っていた	41.1%
怪しいファイルは開かないで削除するようになっていた	46.8%
その他	6.1%

■Q7.【すべての方に伺います】お使いのワクチンソフトをお答えください。(複数回答)

Virus Scan	29.1%
Norton AntiVirus	23.0%
ウイルスバスター	24.1%
Sophos Anti-Virus	0.2%
F-SECURE	0.4%
Inoculan (CheyenneAntiVirus)	0.2%
その他	4.6%
何をしているのかわからない	18.5%

本件に関するお問い合わせ

株式会社ライフメディア <http://www.lifemedia.co.jp>

広報担当 東條・有沢 03(5717)6491 pr@lifemedia.co.jp